

「エコガルが高評価で受注拡大、新化成処理ラインアップで更に拡販

を目指す」

2009年6月5日

JFE鋼板(株)

JFE鋼板(株) (今村晴幸社長) はJFEスチール(株) (馬田一社長) と5%アルミ-亜鉛系めっき鋼板 (JIS G3317) の新商品「エコガル®」を共同開発し、昨年3月、製造を開始いたしました。既に開発された先発メーカーの高耐食性めっき鋼板は耐久性などが認知され幅広くユーザーに浸透しておりますが、弊社開発の「エコガル®」も発売以来1年3ヶ月経過し、受注されたお客様よりいくつかの性能で高評価を得ており、当初の想定以上に用途展開ができております。

<高評価1>

旧5%アルミ-亜鉛系めっき鋼板 (ガルファン) の持つめっきの軟質性をキープしたため加工部の耐食性が良好でグレーチングなどの建築部材での優位性が認められ、高加工塗装原板としても評価されました。

<高評価2>

部材接合に溶接を使用するお客様からは溶接作業性、溶接部強度、耐溶接クラック性について高評価が得られました。

<高評価3>

畜舎用途では「エコガル」の高耐アルカリ性が証明されました。

<蓄積技術の応用>

以上の効果は、めっき液中に微量マグネシウム、微量ニッケルを添加することによって得られたものです。微量マグネシウムの添加は

1990年以前のJFEグループの研究に基づき検討したものであり、当時問題であった耐黒変性をニッケル添加で解決したことで今回、商品化できたものです。またニッケルの添加で耐アルカリ性も改善されました。

<JIS製品>

これらの添加物は微量なので「エコガル®」は5%アルミ-亜鉛合金めっき鋼板のJIS製品 (JIS G3317) として認められ、公共物件 (公共工事仕様書はJIS品限定) の受注が容易です。

<高耐食性>

従来の亜鉛めっきの付着量を低減した省資源による受注もありました。

<旧製品からの切り替え>

既に「ガルファン」をご使用していただいていたお客様には「エコガル®」に変更することで商品性能がグレードアップした結果高評価を得ております。以上により、「エコガル®」の生産量は現在、「ガルファン」からの切り替えも含み1500トン/月を越え、順調に増加しております。

<新化成処理のラインアップ>

経済性、溶接作業性、ロールフォーミング性などを考慮して当初クロメートフリー無機化成処理を開発いたしました。が、拡販活動を通じお客様の用途に対する要求性能が多様化していることが判明し、更なる拡販を目指すためには新たな化成処理のラインアップを要することがわかりました。特に高度な後塗装性、耐指紋性など要求される場合は、有機化成処理が必要となることがわかりました。そこで既に開発済みである当社の「ガルバリウム」のクロメートフリー技術を活用して新たに「エコガル®」のクロメートフリー有機化成処理を完成しました。また、お客様によっては環境対応の必要がなくクロメート処理の要求もあります。今回、従来品よりクロメート付着量を増加、添加元素により更に黒変性、耐食性を改善した当社独自のクロメート処理を開発し追加ラインアップとしました。

このように用途に応じて選択可能な化成処理のラインアップをすることで、今後、更なる用途拡大が期待されます。

<更に拡販>

住宅の品確法の劣化等級については「エコガル®」は実績のある「ガルファン」相当の腐食減量で本年、認定取得しました。今後所定の曝露試験データを蓄積しつつあり、本来「エコガル®」がもっている、更に少ない腐食減量での取得を目指します。建築、土木技術審査証明は年内取得を目標に実行しておりこれらの認定取得も踏まえ

当面の目標として生産量5000トン/月を目指します。今後、弊社は受注活動を通じ、広くお客様のご意見をお伺いし「エコガル®」を更に改善することでお客様のご要求にお答してゆく所存でございます。

本件に関するお問合せは、下記にお願いいたします。

JFE鋼板	第二鋼板営業部	03-5255-9526
	技術部	03-5255-9532

会社概要: JFE鋼板

1. 社名: JFE鋼板株式会社

2. 所在地: 〒103-0022

東京都中央区日本橋室町三丁目 1 番 9 号 (JFE鋼板ビル)

Tel.03-5255-9511 (代表)

3. 社長: 代表取締役社長 今村 晴幸

4. 資本金: 50 億円

5. 事業概要: 溶融めっき鋼板および各種塗装鋼板の製造・販売

屋根・外壁材の製造・販売および設計、管理ならびに工事請負、住宅用構造部材(フレーム
キット, スチールハウス)販売、建設建材用加工製品製造・販売